

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第97回 「外交的・内向的の本当の意味は？」

こころの相談員 前田 里美

親としては、「ちゃんと人前で意見が言えて、友だちと仲良く出来る。明るく活発。」そんな子どもになって欲しいと思う人が多いのではないのでしょうか？でも、実際にすんなりと出来る子は意外と多くありません。思っているもなかなか言葉には出せない、わかっているけど出来ない。休み時間に一人で読書をしている。特定の子といつも一緒に居る。自分の思い通りにならないと友だちにきつい事を言ってしまう。など、大人から見ると大丈夫かな、と思う場面があるでしょう。

しかし、それは「外向的」「内向的」という言葉に私たち大人がとらわれているからかもしれません。実は、「外向的」というのは《エネルギーや意識が自分の外、つまり他人や物事へ向かう事が多く、それらと関わる事を得意とする》、「内向的」というのは《自分の内面に意識が向かう事が多く、内なるものを思考する事が得意》であることを表現するのです。この様に考えれば、必ずしも最初にしたような明るく活発な子でなくても大丈夫だと思いませんか？そして、どちらにも長所と短所が必ずあり、どちらが良いというものでもありません。そのバランスが大切なのでしょう。

社会へ出ていくまでにたくさんの経験をしながら、得意な事は更に得意に、苦手な事は少しずつ出来るようになっていけるように、私たち大人はアドバイスしていけるといいですね。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校で相談活動を行っています。

12月活動報告

パッチワーククラブの方々より、
あさひ園へ寄贈していただきました。



布絵本

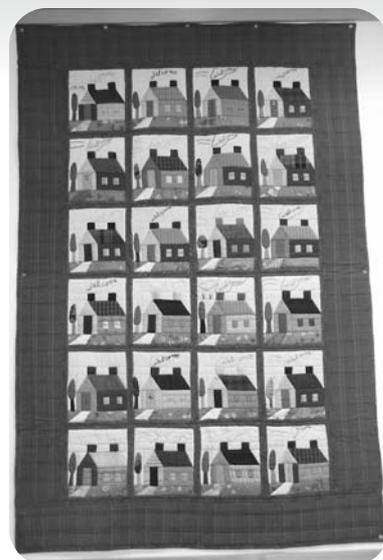
ボタンかけやひも結びをして遊んでいました。



すてきな贈り物を
ありがとうございます



お手玉



タペストリー